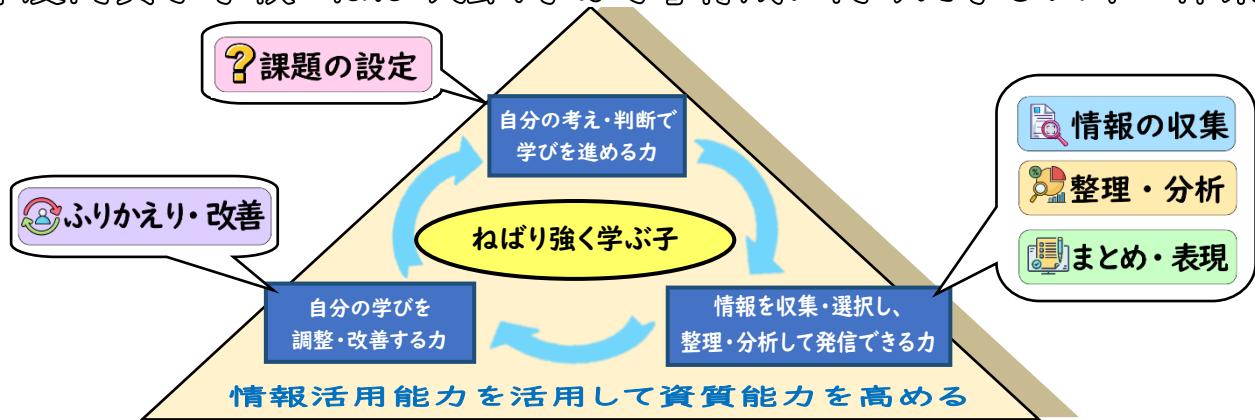


R7年度門真小学校「ねばり強く学ぶ子」育成に向けた学びスキル体系表



学びの過程		ステップ1 (めやす1・2年生)	ステップ2 (めやす3・4年生)	ステップ3 (めやす5・6年生)
これまでの学びをふまえた 課題の設定	長期課題	身の回りのことについに疑問や興味をもち、決めた課題に見通しをもつ	学んだことや身の回りの生活と結びつけながら課題を考え、課題解決の計画を立てる	教科のつながりや社会の事象・現象から課題を考え、仮説とともに課題解決の計画を立てる
	短期課題	疑問・やってみたいことから始めあてをもつ	気づきや問題から学びたい課題を見い出す	多面的な考察から課題を設定する
目的を明確にした 情報の収集	技能	身近な物から、課題に必要なこと(情報)を見つける(教科書、本、友だち、見たこと、聞いたこと、触れたことなど)	様々な媒体から、目的に必要なこと(情報)を集める(テレビ・新聞・ネットなどのメディア、資料、アンケート調査など)	自分で計画した方法で、目的に応じた情報を収集する(調査、インタビュー、実証実験、観察、測量、測定など)
	整理	言葉や簡単な絵、図、表、グラフを用いて考えをまとめる	表やグラフ、思考ツール等を用いて情報を整理する	表やグラフ、思考ツールを組み合わせて、情報を整理する
	考察	見つけたことを比べて、共通点と違い、順序などに気づく	いくつかの情報を比べて、特徴や変化(要点、傾向など)を考える	情報をもとに、理由や仕組み、それぞれの関係を考え、新しいことに気づく
情報のつながりを意識した 整理・分析	選択・決定	正しいかどうか、わかりやすいものを選ぶ	情報が正しいかどうか、2つ以上の結果と比べて確かめる	信頼できるかどうか出典を確かめ情報を選び、根拠をもとに検証する
	まとめ	複数の情報から、わかったことを簡単にまとめる	複数の情報を比べたり、関係づけたりして、自分の考え方や意見をまとめる	自分の体験(見学・観察など)と資料データを関連づけてまとめる
	構成	順序を考えて、相手に伝わるように表現する	相手を意識して、自分の考えが伝わるよう言葉を選び、表現する	聞き手との対話や目的をふまえて、効果的に表現する
相手を意識した まとめ・表現	手段・発信	相手を意識して、写真・絵・図・紙芝居などでわかりやすく伝える	相手や目的に合わせて表現方法(壁新聞、ポスター、リーフレット、スライドなど)を選択し、考え方や意見を伝える	目的や意図に応じて、複数の表現手段(スライド、文書、表計算ソフトなど)を組み合わせて伝える
	自己調整・改善	わかったことや気づいたこと、うまくいったことなどをふりかえり、感想をもつ	学びの進め方や分かった理由など自分の学び方をふりかえり、改善点を見つける	自分の学び方を客観的にふりかえり、より良い成長をめざし、次の学習に向けた調整を行う
	自己調整・改善	わかったことや気づいたこと、うまくいったことなどをふりかえり、感想をもつ	学びの進め方や分かった理由など自分の学び方をふりかえり、改善点を見つける	自分の学び方を客観的にふりかえり、より良い成長をめざし、次の学習に向けた調整を行う
より良い学び方を意識した ふりかえり・改善				

参考：文部科学省 情報能力体系表例、大阪府情報活用能力ステップシート、羽曳野市立西浦小学校・豊中市立刀根山小学校情報活用能力の体系表